

今月の内容

- ・全国の聖徒団を訪ねて(1面)
- ・真成寺聖徒団で「開創500年祭」(2面)
- ・各地で清道衆講習会(3面)
- ・岩田先生の心も体も生き生き!(4面)
- ・全国の聖徒さん紹介(5面)
- ・よろこび法話(6面)
- ・全国のよろこびちゃん(6面)

日蓮大聖人御降誕800年
平成33(2021)年2月16日

よろこび

聖徒のための情報誌



〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341
ホームページ
www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

2018年(平成30年)
2月号

発行所
日蓮宗霊断師会連合会

会長 末吉観道
編集人 濱田壽教
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行

全国の聖徒団を訪ねて

茨城県つくばみらい市 妙栄寺聖徒団(黒須栄順団長)



二月十六日は、日蓮大聖人がご降誕なさった日です。

日蓮宗宗会議員
埼玉県川口市 実相寺聖徒団団長 松永 慈弘

「日蓮は日本国東夷、東条、安房国、海辺の旃陀羅が子なり」私日蓮は、今の千葉県鴨川市小湊に生まれました。身分は、インドのカースト制度では最下層とされている「センドラ」です。と『佐渡御勘気抄』の中で述べられています。

最下層ですから、多くの困難・不合理に遭遇したことでしよう。人々の苦しみに共感し、この世の中を素晴らしい世の中に変えて行かねばなら



ない、人々を幸せに導かなければならない、とお考えになられたのでしよう。

当時の日本は、「天変地災・飢饉疫れい・遍く天下に満ち

茨城県つくばみらい市妙栄寺は大正初期、お題目修行道場として法照院妙筵上人が開いたのが始まりである。当山の歴史は比較的新しく、現任職は五代目で、先代が板橋教会から妙栄寺に寺号公称した。

初代からしばらくは、靈感などで相談や悩みごとを受けていたが、昭和五十年代に先代が初めて霊断師となり、続いて先々代もなった。その時より霊断法とご祈祷による布教活動を行い、現在は毎月の行事として盛運祈願祭と供養祭を行っている。

聖徒の小林忠さん(檀家総代)・真理子さん夫婦は「毎日、月守りを身に付けて、朝起きて仏壇の水の交換をしてからお祈りしています。住職よりアドバイスを頂いたり、お世話になったことにより、今まで以上に感謝の心を大切に思う

広く地上にはびこる。牛馬巷に倒れ骸骨路に充てり、死を招くの輩(ともがら)既に大半に超え、悲しまざるの族(やから)敢て一人も無し」「立正安国論」という惨状を呈していたのです。

地震・台風などの天災が続き、疫病がはやり、牛や馬の死体が腐りかき異臭を放っており、骸骨が道路のそばに転がっていたのです。そして、全ての人が嘆き悲しみ、どうすることもできない無力感から、この世の中で幸せに生きることが不可能と考え、死後の世界での幸せを望み、あの世での救済を信じていたのです。

しかし、日蓮大聖人は、鎌倉時代にあつてただ一人、死



ようになりました」と語る。

また聖徒の南本正弘さん(なんもとまさひろ)・由加子さん夫婦は「先代のときからずっと、仕事や引越しのことから人生相談まで、困ったことがあればお寺に行っていました。お寺では住職と話をしたり、とても心が落ち着く場所です」と語る。

団長は、「去年六月十八日に入寺式を行いました。まだ

まだ住職として日が浅いですが、相談者一人一人との出会いを大切に、責任を持って努めていきたいです。また俱生神月守の着帯を勧め、お題目の有難さ、お題目に出会えた感謝の心を多くの方に伝えていきたいです」と語る。

妙栄寺聖徒団は多くの方々がお題目を唱えるお寺として、これからも栄えていくことだろう。



のです。

特に二月十六日は、日蓮大聖人に対し報恩のお題目をお唱え致します。



後ではなく今我々が生きているこの世の中で救われること、幸せになることを目指したので。

この平成の時代、あの世で救われるからこの世では不幸でよい、などと考える人は一人もいないと思います。日蓮大聖人のお考えが正しかったことを、時代が証明している

第53回「身延大会」予告 平成30年10月20日(土)・21日(日)

今年の身延大会は十月に開催します!!

今年(第53回大会)に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先のある宿坊・旅館等に早目のご予約をお願い致します。

宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、『日蓮宗霊断師会・九段事務所』までお問い合わせ下さい。

日持上人給出の霊場 間法寺
monpo 間法寺

2月25日(日) 午前11時より
盛運祈禱会

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 真幸・副住職 工藤 真樹

妙正寺聖徒団

柴野順子(左)・深山サダ(右)

2月4日(日)午前11時
節分厄弘大祈禱会。釈尊涅槃会。
毎月1日午前10時 盛運祈願会

北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道 上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団

〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙顕寺
日蓮大聖人御真骨奉安

齊藤日軌貫首の著書&CD
日蓮宗の戒壇、その現代的意義
スリチナル
アルナム
感謝CD
感謝百万遍陀羅尼

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団団長
新聞 智雄

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

富山県魚津市・真成寺聖徒団で「開創五百年祭」



富山県魚津市にある玉蓮山真成寺は、永正十四(一五二七)年の開山で、昨年開創五百年という大きな節目を迎えた古刹である。谷川寛俊団長(真成寺三十五世)は、開創五百年事業の一環として平成二十二年に本堂改修・庫裡新築。平成二十四年に三十番神勧請。平成二十七年に本堂屋根銅板葺き替え。平成二十八年に「永代供養墓久遠廟」建立など、伽藍や庫裏の整備に着手してきた。

聖徒ら約千五百人が参詣し異体同心にお題目を唱和した。メインストリートは歩行者天国となり二十数店舗の飲食物販の祭市楽座を開催。『記念本祭』では「経本奉納式」が行われ、「如来寿喜品」の一部「自我偈」を全国四十七都道府県の僧侶百二人が、それぞれが担当した五文字を染筆し、順番に並べた他に類を見ない「自我偈」の経本五百冊を御宝前に奉納した。経本の表題「法華経自我偈功德聚」は全日本書道連盟の星弘道理理事長が御染筆。記念法要に先立ち、二人の聖徒が経本を広げ、谷川寛敬副団長が経本作りや内容などを説明した。



また記念本祭では、臼と杵を二つずつ用意して餅つきがあり、地方衆が三味線、太鼓、唄などを演奏する中、稚児らが白一つにつき二百五十回、合わせて五百回ついた。その後、総本山・身延山久遠寺から駆け付けた身延山万灯講が万灯を奉納する中、稚児百人の行列が本堂内を回り、成長を祈念してお守りが授けられた。奉納舞踏や奉納染筆などが行われ、谷川団長をはじめ本堂内外に結集した聖徒らが読経し、開創五〇〇年祭が無事に幕を閉じた。

インタビューを受けてくれた谷川寛敬副団長は「これまで脈々と受け継がれてきた五百年。そして、これから受け継いでいく五百年。過去から現在そして未来へと受け継がれていく法灯継承。受け継ごうとする者。受け継がせようとする者。五百年間という永きにわたり聖徒皆様の真心に支えられて維持継承され続けた『法華経御題目』の真理。この五百年の節目を新たなスタートと位置づけ、新しい歴史に向かい聖徒の皆様と共に、地域社会の一役として寺門が興隆すべく、これからも努力精進し歩んでまいります」と決意を述べた。

第七十五回 日蓮大聖人の歩まれた道

清澄寺離山

靈断院教学部長 小泉 輝泰

「貴辺(浄頭房)は地頭のいかりし時、義城房とともに清澄寺を出でておはせし人なれば、何となくともこれを法華経の御奉公とおぼしめして、生死をはなれさせ給うべし」
(本尊問答鈔)



聴衆のあまりの剣幕に大聖人の身を案じた道善房は、いまだ激しい法論を発し続けようとする大聖人を制して退堂することを命じました。次いで東条景信を何とか静めようと有め続けるのですが、それしきのことでは烈火のごとき怒りは収まりません。景信は「弥陀を愚弄する悪僧を直ちに追放せよ」と、道善房に激しく迫ります。もしその命に背くとすれば、師である道善房、はてはこの山までも危害を加えんとするばかりの勢いでした。

しかも敵は景信だけではありませんでした。味方となるはずの山内からも、円智房や実城房らの諸師が、景信に追従するかのように追放を迫ったのです。もはや清澄山内では、完全に孤



立した状況でした。居場所を失った大聖人は、命も危ぶまれるほど逼迫した状況に置かれてしまったのです。道善房は苦渋の選択を迫られました。そしてついにその圧力に屈し、またこのままでは大聖人に危害が及ぶことを案じて、清澄より退山させることを決意したのでした。



(右) 前川忠昭(マエカワタダアキ)さん
(左) 前川民子(マエカワタミコ)さん
お寺では総代をさせていただいています。初めてのお参りでワクワクしています。(前川忠昭さん)
身延山は入ってきたら別世界のように、厳かでホッと特殊な雰囲気ですね。(前川民子さん)

聖徒団身延大会に参加しました

千葉県本妙寺聖徒団 (若林書学団長)



翌日は年度報告会議が開催された。本部講師を交え今後の北陸教区における霊断布教の在り方が議論され、有意義な二日間となった。

北陸教区霊断師研修会開催

平成二十九年十二月七日、八日と富山県利生寺に於いて北陸教区霊断師研修会が開催された。新潟、福井、石川、富山より合計十二名の霊断師が教学と霊断法の研鑽に励んだ。

教学は、教学原理(高岡完匡師の講義ビデオ)について養成講習会の資料を基に研修した。霊断法では三木一乗講師と工藤堯顯師が分かり易く丁寧な解説を行った。会場を移した懇親会では、本部講師への質問や、北陸教区各霊断師の情報交換の場となり盛り上がった。

各地で清道衆講習会開催

北海道東川町妙正寺聖徒団・旭川市齊祥閣聖徒団二ヶ寺合同

十一月二十五日(土)北海道東川町妙正寺において、妙正寺聖徒団(関正龍団長)、齊祥閣聖徒団(佐藤鳳晃団長)二ヶ寺合同の清道衆講習会が開催された。

本部より天野行淳講師(本部長)が出席し、参加者二十八名による講習会となった。

講師の自己紹介から始まり、テキストを基に自身の体験談を交え、お題目の功德、お題目の有難さ、俱生神月守の着帯の意味、盛運折願会の大切さを優しく、丁寧に講義された。

妙正寺聖徒団では十四回目の開催となったが、今回でやっと分かった事、あらためて疑問が生じた事、もっと深く知りたくなった事、更に再確認した事など、参加者一同大変有意義で、信仰が深まる講習会となった。

受講生の感想文

菊池正晃さん

ご本尊は十界皆成の大曼荼羅であり不変であること。そして、俱生神月守を着帯し、お題目を唱えることで、その人の一生が守護されることを学びました。

菊池美恵子さん

とても分かりやすく、とても良い時間でした。この講習会には十四回全て参加しましたが、まだまだ私たちの知らないところがあるのだと知りました。

松浦富子さん

自分は仏なのだと教わり感動しました。俱生神様に感謝し、恩に報いなければならぬとの事は大変ありがたいと思いました。皆さんと仲良く信仰し日々を過ごした



信仰が深まった講習会

と思います。

小木貞雄さん

ゆきちゃんの話に心打たれました。何事にも真剣に取り組み、心が通じ合うことを学びました。来年は十五回目ですが、先生には続編の講演を期待しています。

小木常美さん

お話を聞いていたうちに、忘れていた過去十四回の講義のことを思い出しました。ゆきちゃんのお話でも感動し、涙で終わった一日でした。

渡邊由子さん

お題目を唱えるところ自分の胸に仏さまの世界があること、俱生神月守の大切さを学びました。改めて自分を見つめ直す機会となり、感謝しています。

杉本まゆみさん

楽しく心温まるお話に聞き入っていました。私は無明によって仏様目線ではなく自分目線になっているのだと学びました。お題目を通して皆で支え合いながら、感謝・尊敬・報恩の気持ちを持ちたいです。

江藤公得さん

お話一つ一つが分かりやすく、感謝しています。お題目を糧に仏

の担い手となり、それぞれが自分の役割を持って、支え合って過ごしていきたいと思いました。

大滝保江さん

俱生神様のご守護に感謝し、自分の考えと行動に責任をもって生きていきたいと思いました。しかし、私はまだまだ未熟ですので、月守を着帯し、懺悔(反省)祈り(願い)誓い(行い)を大切に、お題目を信じ唱え、支え合って生きていきたいと思っています。

小山直美さん

普段から齊祥閣のお上人に「何も心配することはない。ご神仏に感謝しお題目を忘れずいいなさい」と教えをいただけていますが、今回の講義を聞いて、改めてその教えが身に染みしました。自分が何をしなければならぬのかを再認識する機会となり、人として母として、又ひとつ成長させていただきました。

池野碧さん

いつも佐藤上人に教わっている



講習会終了後の記念撮影

ことですが、改めて心の中でしっかりと理解できました。「私たちは完璧でないから修行する」という言葉を胸に、日々の生活で「懺悔・祈り・行い」を大切にしたいと思えます。この出会いがあり、たく、感謝しています。

廣瀬賢乃さん

真剣だと智慧が出て中途半端だといふ加減になる、という言葉が印象的でした。ありがとうございました。

廣瀬賢乃さん

広島県福山市常國寺聖徒団

十一月二十八日、広島県福山市常國寺聖徒団(濱田壽教団長)に於いて、本部より新聞信應講師(聖徒部長)を迎え、第四回清道衆講習会が開催された。

参加人数は九十四名、講義では新聞講師が日蓮大聖人のご生涯九識靈断法、俱生神月守の有り難さをテキスト「よろこび」に添って、ユーモアを交えながら優しく分かりやすく講義され、泣いたり笑ったりの充実した清道衆講習会となった。

池野碧さん

この度は、とても貴重な学びの機会を与えてくださり、ありがとうございました。先生が後半に具体事例として話されたご自分のお子さんの病気を通しての体験談が、とても心に浸りました。親として子どもにとって、私ならどう向き合っていたか等々、思いを重ねながら聞かせていただきました。日頃は、忙しさを理由に日々流される私ですが、今日は、素の自分に向き合うことのきっかけと勇気をいただいたように思います。本当にありがとうございました。

志田原松香さん

今回の講習会で幸福とは何であるか、満足することである、と学びました。今年は、少し病気をしまして、健康に満足すること、経済に満足すること、環境に満足すること、全くと実感しております。全てに感謝の気持ちでいっぱいです。今までの私自身のかたよった慢心の心を悟されたようでした。祈り、わかります。悟り、そうです。行い、そうありたい。少しづつ年を重ねてきてはいますが、もうすぐ、すぐそこにゴールがあるではなく、今は、まだまだ通過点に過ぎないのだと思うと、まだまだもっと心豊かな人間になりたいと願うのです。清道衆講習会に参加させて頂きありがとうございます。

森近利行さん

私達の菩提寺常國寺において、島根県雲南市から新聞先生をお迎えし、勉強会が開催されました。平日でしたが、九十四名の檀信徒の皆さんが参加されました。先生の経験豊かでユニークなお話から入り、人を引き込む大聖人の生い立ち、又若くして自分の信念で南無妙法蓮華経を全世界に唱えあげ、今日の礎となっているこの教えでした。私は常國寺の月守を着帯し、大難を小難にの思い、思いよりいい時はお陰様と考え、日々暮らしております。今日のお言葉の中で三秘法の祈り、悟り、行いが自然に出来るように、日頃

森近利行さん

から法華経と共に、生かされた命と周りの人や先祖を大切に、日々感謝の手を合わせたいです。

小山良子さん

第四回清道衆講習会に参加させていただきありがとうございます。私がお題目と出会ったのは、父が亡くなった時でした。成仏してほしいという思いから、夫と一緒にお経本を手元に置いて、ただ声に出して唱える毎日でした。新聞先生のお話を拝聴して、手を合わせ御本尊様に南無妙法蓮華経と心をこめて祈ることを信じて、信心すると御本尊様と心がかよいます。そうすることで、悩みや苦しみから脱して、平穏な生活ができるのだと学びました。講習会でいただいた縁を大切に、これから感謝と祈りのお題目を唱えていきたいと思えます。

小山保育さん

常國寺での清道衆講習会は、今回で四回目ですが、私は今回初めて参加しました。講習会のはじめに、「私たちはいつも幸福でありたいと望んでいる」とありました。幸福とは何だろうか？健康・経済・環境にそれぞれ満足すること。それで、今の私はどうだろうか？と考えるに、健康についても、現在、生死にかかわることも無く、また経済についても、環境についても、ともにそれなりに、人並みかと思っています。ただ、このことは人の価値観の違いだと思えます。次に、日蓮大聖人伝の講義でした。大聖人の「出家の元」仏教の隆盛にもかかわらず、社会は乱れ、天災や地震が起り、人々は苦しみをあえいでいました。衆生を救い、国家を安んずる等々を疑問に思い、出家し修行に励み、釈尊御一代に説かれた經典の中、「法華経」、「南無妙法蓮華経」の五字七字こそ、衆生を救う唯一絶対の正法であると大覚悟されました。ですから、法華経

合掌

を信じて唱えることで、思いが叶うのだと思いました。終りの講義では、新聞先生のご家族の体験談をもとに「俱生神月守」を身にいただく、お題目信仰に生きることが大切であるとお話されました。

皿谷敏子さん

この度、二回目の講習会に参加させていただきました。浄行奉仕を重ねてお寺に参ることが多くなり、いままでの無信心を恥じると共に、信仰を深めることで、幸福な心を持つことが出来るのだと思うようになりました。講習会を聞き、感謝の祈りをささげること、そして悟りを行うことが、真の信仰であり、悩み苦しみから脱することが出来るのだとわかりました。法華経を心から信じ、日々お題目を唱え続けていることが、人生において喜びとなるよう努力していきたいと思えます。なかなか自我の強い私には難しいことですが、今後、又講習会があれば参加させていただきます。一段一段の聖徒となるべく勉強して参りたいと思えます。有難う御座いました。

熱心に聞き入る受講生

講習会終了後の記念撮影

熱心に聞き入る受講生



熱心に聞き入る受講生

みおしえ



譬えば天月は四方由旬なれども大地の池には須臾に影浮び雷門の鼓は千里遠けれども打てば須臾に聞ゆ、御身は佐渡の国にをはせども心は此の国に来れり。佛に成る道も此くの如し。我等は穢土に候へども心は靈山に住べし。御面を見てはなにかせん心こそ大切に候へ

『千日尼御前御返事』弘安元年(一七七八) 宗祖御年五十七歳



霊断師会霊断院教学部主任
和歌山県龍光寺聖徒団団長
松 森 孝 雄

師弟とは、距離や立場や形式ではなく、師を求める弟子の心こそ生き生きと脈動していることを、宗祖日蓮大聖人は教えられている。

千日尼は、法華経の信心を貫き、毎年のように大聖人のもとに夫を送り出し真心のご供養を届けられた。大聖人は、千日尼が師を求める心は距離を超えて伝わっているということ、譬えを通して示されている。すなわち、天空の月がその影を即座に地上の池に浮かべるように、雷門の鼓の音が瞬時に伝わるように、「あなたの真心は間違ひなく私のところに届いています」と仰せになっておられるのである。

「千日尼の心には、「遠く離れた大聖人には、もうお目にかかれないのではないか」という気持ちがあつたかもしれない。故に「心は常に私と共にあるのですよ」との師からの激励のお言葉は、千日尼にとってどれ程の勇氣と希望となつたか計り知れない。

大聖人は、「佛に成る道」もこれと同じであり、私たちの身は「穢土」にあると仰せである。苦しみや悩みに満ちた現実世界の中で、妙法(佛法)のため師のためと徹する心は、そのまま靈山という佛の世界に到達しているということである。故に大聖人は、会えるか会えないかという形式ではなく、「一心こそ大切」であると結論されている。

宮崎県 龍雲寺聖徒 薬師整骨院 岩田行敏院長

からだの不思議! 「人の体温」

岩田先生の
心も体も
生き生き!

一体、人の体温は何度まで上昇可能!?

私達は、当然のことながら哺乳類に属した、定温動物です。「定温動物」とは、気温に関わらず、いつも体温を一定に保つことができる動物のことです。



では、体温を一定に保つメカニズムは、どのようになっているのでしょうか?

体温を維持する中枢は、間脳の視床下部にあり、外気温や血流温度に合わせて、体温を調節しています。

例えば、外気温が高い場合、視床下部の温熱中枢を刺激し体温調節中枢の設定温度を低くして体熱の放散を図ろうとします・・・運動をしたときや真夏日に汗をかくのは、発汗によって体熱を放散させようとするため!

逆に、外気温や血流温度が低いと、視床下部の冷中枢を刺激して、体温調節中枢の設定温度を高くし、熱の放散を抑制します・・・寒いと体がガタガタ震えるのは、筋肉を動かすことによって体熱を生産し、体温を上げようとするためなのです!

普通、平熱と言われるのは35~36.5度ぐらいですが、実際発熱とされるのは、37度以上で、体温が1度上昇すると、13%ほど代謝が増加し、発汗倦怠感という症状が出ます。

体温計が42度までしかない理由

体温計をよく見ると、目盛りは35度~42度までしかありませんよね。



これは、人の体を構成するタンパク質の性質と大きな関係があります!

タンパク質は、熱で凝固する性質がありますが、この凝固の温度が42度以上。

つまり、42度以上熱が出てしまったら、人は生命を維持することが不可能になる・・・

逆に、低温にはどれだけ耐えられるのか?

35度以下を低体温といい、体温を上げるための処置が必要になり、低体温になると意識の混濁や脈が激しくなるなど様々な症状が現れ、20度で心臓が停止するそうです。

身延山下町紹介

三河屋数珠店



三河屋数珠店は江戸時代より十七代にわたって数珠屋を営んでおります。古い經典の中にも数珠を持って合掌することが最上の功德であると記されております。

当店では仏教徒の御守りともいえる数珠を豊富に取り揃えており、さらには店内の工房で伝統の手仕事による数珠の製造、修繕も承っております。数珠に関する幅広い知識ときめ細やかなアフターケアでおお客様の要望にお応え致します。

お店に並ぶ数珠の中からどうぞ運命の一本をお探しく下さい。

つながる通信員!

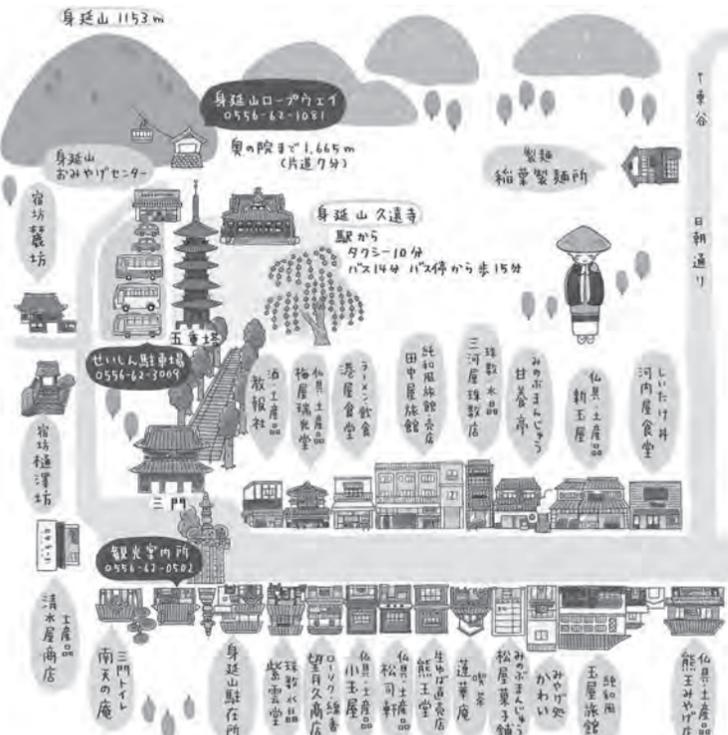
教誌よろこびを共に作成している全国の通信員を毎月紹介していきます。



大塩 裕孝

千葉県・正蓮寺聖徒団
聖部・梵寺聖徒団 副団長

一日の最後にゆっくりと風呂に入るのが幸せです。また色々な入浴剤を集めるのも楽しみです。



全国の聖徒さん紹介

千葉県柏市 妙照寺聖徒団
(瀬川観常団長)

藤井明(41)さん



お寺のグリーンキーパー

妙照寺の聖徒であり、お寺で働く山務員でもあります。

実は団長と幼馴染であり、小学生の頃よりお寺の境内でよく遊んだ仲です。ちなみに万灯講は二十四歳の時に、藤井さんが立ち上げました。

藤井さんは高校卒業後、工場に就職後に運送会社に入社するも十年目に腰痛が悪化し、それが俱生神月守を着体するきっかけとなりました。運送会社を退社するにあたり、団長と話し合い妙照寺で働くことが決まりました。山務員となり二年が経ちました。現在では草刈り機・チェーンソーなど、いろんな工具を使いこなし、時には溶接機やユニボを使って寺観の整備に努めています。番犬の体重が六十kgあるので最初は嫌がっていましたが、仲良く散歩へ行けるようにもなりました。

藤井さんが心掛けている事は、聖徒の皆さんから「お寺が綺麗になってるね」と言われる事だそうです。

よろこびちゃんのクッキング

味噌ちゃんこ鍋



鶏スベアリブ(手羽中) 8本、豚こま肉200グラム、油揚げ1枚、白菜50グラム、ゴボウ1/3本、人参1/2本、ニラ1/2束、A(中華顆粒だし適量、水4/5カップ)、B(おろしニンニク1片分、味噌大さじ2/3、醤油・砂糖各大さじ1/2)、ごま油適量。

①油揚げは、熱湯をまわしかけて油抜きをして1センチ幅に切る。白菜は食べやすい大きさに切る。ゴボウと人参は大きめのささがきにする。

ニラはざく切りにする。
②土鍋にAとB、鶏スベアリブを入れて火にかける。沸騰したら豚こま肉とニラ以外の野菜を加えて煮込む。
③全ての具材に火が通ったらニラを加え、ごま油をまわしかける。

※しめは、うどんやちゃんぽん麺がオススメ。
※辛い場合は、ごま油をラー油に変えてください。(九段事務所まで)

ヨコのカギ

- 1 正月用の縁起物の矢
- 4 羽根つきの用具です
- 7 新年のお宮参り
- 9 年賀状を数える言葉
- 10 イタリアの昔の通貨
- 11 将棋で「金将」に成った「歩」のことです
- 12 かぐや姫の……取物語
- 14 すし屋ではムラサキと言う
- 16 江戸時代の黒と白の四角形を並べた……模様
- 18 ……心あれば水心あり
- 20 計算ちがいのことです
- 21 モモクリ3年…8年
- 23 おみくじで……を占う
- 24 助言。忠告
- 26 1月2日にする書道
- 27 魔法……。人形……

脳トレクロスワード

答	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						

【問題】A～Fを並べてできる言葉は？

タテのカギ

- 1 女性の血筋を引く人
- ……の祖父
- かど……
- トカゲに似たほ虫類
- 反対語は地味
- トシチで有名な僧
- 町。……ウエア
- 竜宮城の……太郎
- 牛や馬を数える言葉
- そろばん・電卓など
- 十字路のことです
- 愛玩犬といえは……
- 冬は……プールで泳ぐ
- けんらん……な宮殿
- 風変わりで……な服装
- ……降って地固まる
- 函館名物。……の塩辛

九識靈断法



人生には必ず活路があります。日々の生活における悩みや不安を取り払い、満ち足りた生活の手助けとなるべく、「九識靈断法」という法術があります。信仰しているお寺にご相談ください。※完全予約制

★抽選で毎月3名様に素敵な景品をお送りします。(締切は毎月20日消印有効)

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号を明記の上、葉書にてお申し込みください。

【答えの送付先】

T101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
霊断師会九段事務所 宛て
(先月号の答えは「ジングルベル」)

十二月号クロスワード当選者 笹館紀子(栃木県矢板市) 竹下哲也(広島県福山市) 中裕美保(和歌山県和歌山市)

俱生神月守をみんなで持ちましょう！

俱生神月守

毎月身延山で開眼・祈願し 皆様の聖徒団に届きます



俱生神月守

俱生神月守は、宗旨(家の宗教)に関係なく持つことができるお守で「ぐしようにんつきまもり」と読みます。

日蓮大聖人様は「乙御前御消息」の中で、「人には必ず二の天影の如くに添いて候。所謂一をば同生天(どうしやうてん)と云ふ、二をば同名天(どうみやうてん)と申す。左右の肩に添いて人を守護すれば失なき者をば天もあやまつ(誤る)事なし。」俱生神(ぐしやうじん)とは、同生・同名の二人の神様を一緒に言います。

人が命を宿した時にすでに守護を始めているとお釈迦様は仰っておられます。お釈迦様と日蓮大聖人様の教えの如く、いつもその人だけを守っている神なのです。

【同生天】…あなたの生命(健康)を守って下さる神さま。

【同名天】…あなたの生活(経済)を守って下さる神さま。

この二神の守護をしっかりと受けるために持つのが「俱生神月守」です。あなたの俱生神はあなただけを護ります。だれもが持つことができます。

安心・安全・幸せのために、皆で俱生神月守を持ち、家族・友人・知人にも勧めましょう。

●家族みんなで着帯しましょう…家庭円満に安心して過ごせます。

●知人の悩みにも…分かち合うことの喜びを味わえます。

●引越しや旅行の時に…方位除け・盗難除けとして。

●霊断を受けたら…まず着帯して下さい。良い結果が訪れます。

※お寺の鬼子母神様、お稲荷様等のお札・お守と一緒に持たれても結構です。

○お題目を信じ、唱えて下さい。

○いつも肌身離さず、俱生神月守を着帯して下さい。

○毎月、月初めに新しい月守と必ず交換して下さい。

よろこび法話

合掌からはじめましょう



千葉県 南房総市
全昌寺聖徒団 団長
亀井 教見

現在日蓮宗では「いのちに合掌」をスローガンに掲げていますが、「合掌」と聞くとも思いつきませんが、合掌と聞くと、それはある本山のお寺で小僧として修行をしていた時のこと。ある日お通夜があり、先輩上人が導師をする補佐役として一緒に出席しました。法要がすすみ、お題目を唱える時にその先輩がこうお話しされたのです。

「只今より、日蓮宗の宗儀に則り、お題目・南無妙法蓮華経をお唱えし、故人にささげます。ご参列の皆様におかれましては、右の掌、左の掌を合わせ合掌していただき、ご一緒に南無妙法蓮華経をお唱え下さいますよう、お願い申し上げます。」随分と丁寧にご

案内されていたので、私は気になって帰りの車で先輩に聞いてみました。するとこう話してくれました。

「昔、普通に『合掌』してお題目を一緒に唱え下さい」と言ったら、通夜振舞いの席で、お通夜に参列した小学五年生くらいの女の子から、『お坊さん、なんでお通夜なのに歌を歌うの？』って聞かれちゃった。その子は『合掌』って言ったのを、歌を歌う『合掌』と勘違いしちゃったんだよね。それから子供にもわかるように、『右の掌、左の掌を合わせて…』って言うようにしてるんだ。」

先輩はその女の子のことをさらに話して下さいました。その女の子にこう伝えたそうです。「指がなんで五本あるかわかる？『あ・り・が・と・う』の五文字を伝えるために五本の指があるんだよ。右の手のありがとと左の手のありがとを合わせて、今までおじいちゃんがしてくれたこと、お年玉や誕生日プレゼントをくれたこと、優しくしてくれたり笑わせてくれたり、たくさん良い思い出をくれたこと、色んなことへのありがとを込めて、おじいちゃんのために明日のお葬式でも合掌してお題目を唱えてね。」

すると、その次の日のお葬式ではちゃんと合掌をして一生懸命お題目を唱えてくれたそうです。注意して見ていたら、その女の子は、出棺の時、収骨の時、その場にいた誰よりもしっかりと手を合わせていたそうです。

時が流れ、私も無事に小僧を卒業し、日蓮宗僧侶となり、多くの方々のお通夜やお葬式、ご法事、ご祈祷等に携わるようになりました。私も先輩の真似をしてお題目の前になるべく丁寧にご案内をし、参列の方々みなで合掌してお題目を唱えてもらうようにしております。先輩が出会った女の子の話を含め、私が日々僧侶として毎日を送る中で感じることは、合掌して祈りをささげるといのが信仰の第一歩であるということです。

「信仰」と聞くと堅いイメージや難しそうな印象を受ける方がいらっしゃる

るかもしれませんが、それは誤解です。私達日蓮宗の信仰・南無妙法蓮華経の信仰は、心を養うことであると言えます。素直に感謝できる心、幸せを感じることができる心、誰かに優しく微笑み、語りかけ、誰かのために行動ができる心。誰もがもともと持っている善なる心を養うことができるのが、お題目の信仰です。

法華経の一節にこうあります。「願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成佛道(願わくはこの功德をもつて普く一切に及ぼし、われらと衆生と皆共に仏道を成ぜん)」この一節は、特定の人のためだけでなく、すべての人々の幸せを願うという仏教の根本を説いており、非常に重要な経文です。他の人の幸せも祈ることができる心を養うこと、それがお題目信仰の到達すべき理想であると考えております。

お互いに合掌し合い、お互いの幸せを祈ることができる社会、そして、皆が毎日笑顔で安心して暮らせる世界。「そんなのは小説や映画の中だけのおとぎ話に過ぎない」と鼻で笑う人がいるかもしれません。しかしそれは決して夢物語ではなく、私達の行い次第で現実のものとすることができます。

合掌しお題目を唱える時、ほんの少しでも構いません。周りの方々の幸せも祈って下さい。例えば盛運祈願会に三十人参列していたとして、それぞれが自分のためだけにしか祈っていないと、それはどんなにがんばっても一の祈りではかありません。しかしそれぞれが自分のため他の方々のために祈っている、三十の祈りとなり、それが、身近な同志、地域の同志、さらには日本全国の同志、世界の同志のためとなる、何十万、何百万、何千万、何億、何十億もの祈りとなります。

祈ります。それはまさに日蓮大聖人が「衆流あつまりて大海となる」(撰時抄)と述べられている通りです。私が好きな歌に福山雅治さんの『生きてる生きてく』という歌があります。その中にこんな歌詞があります。「大きな夢をひとつ持った。恥ずかしいくらいバカげた夢を。そしたらなぜか小さな夢がいつのまにか叶った。」



「願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成佛道」の大きな理想を祈りお題目を唱える日々を送っていると、不思議なことについて自分自身の願いが成就しております。その一歩を進んだ先には、九識靈断法の神秘、俱生神月守のご守護といったお題目信仰の世界でしか味わえない幸福が待っています。

しかし、そこで立ち止まってはいけません。自分だけの幸せで終わるのが仏教ではありません。さらにその先の向こうに広がる「皆共に仏道を成ぜん」の大理想を目指し、お題目の輪を広げていく次の一歩、俱生神月守のご縁を弘めるさらに次の一歩へと踏み出さなくてはなりません。すでに日蓮大聖人によって幸福への道は開かれております。その道の門をくぐる第一歩こそが合掌です。まずは合掌からはじめましょう。そして、俱生神月守を胸に抱きお互いの幸せを願ってお題目をお唱えし、俱生神月守・お題目の輪をどんどんと広げ、理想の実現に向け共に精進してまいります。



本誌イラスト 小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol.53

餅つき大会で大活躍の圭正君！お母さんと毎月お寺へお参りしています！

埼玉県龍音寺聖徒団 齋藤龍健団長
松本 圭正くん
平成23年10月18日生まれ

「ほっと絵手紙」を募集いたします。左記の宛先まで！
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-25-11 喜助九段ビル702 日蓮宗霊断師会連合会九段事務所

和歌山市の吉野貴美さん(左)の絵手紙です。

宮崎県の大橋厚子さん(右)の絵手紙です。ありがとうございました。

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304 岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166 FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団 団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002 千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062 FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定
仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗霊断師会会長 利生寺聖徒団団長
末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会 副会長 日蓮宗宗会議員 正蓮寺聖徒団 団長
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207 FAX 0436-52-2288